

91. 大分元町石仏



DATA

所在地 大分市元町

概要

元町石仏は、上野台の中腹にあり、露出した凝灰岩に刻まれています。

石仏の中心は薬師如来坐像で高さ3M、丸彫りに近い厚肉彫りに刻みだされています。薬師如来座像の左に多聞天（たもんでん）立像をはさんで、その妻子とされる善膩師童子（ぜんにしどうし）と吉祥天像が左右に、右に不動明王をはさんで左右に矜羯羅（こんがら）、制夕迦（せいたか）の二童子が刻まれています。

この仏像群は定朝様式の見事な作風がみられ、11世紀中頃（藤原時代中期）の製作と推定されており、豊後磨崖仏の代表的優秀品で昭和9年に国指定史跡に指定されています。

MAP

